



海こひし潮の遠鳴り数へつつ少女となりし父母の家



歌集『恋衣』初版（堺市博物館蔵）



さかい与謝野晶子
青春の短歌大会

選歌集



ほとばしる若い感性

この「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」は、今回が第三回目となりますが、いままでもっとも多い一万一千九百一首の応募がありました。いずれもしなやかな若い感性がほとばしるような歌でした。その多数の応募作品から入賞作および入選作を厳選することは、たやすいことではありません。それだけに選ばれた作品は、それぞれの個性的な感情生活がみごとに表現されています。残念ながら新型コロナウイルスのために、前回も前々回も表彰式を中止にいたしました。今回こそ、受賞者の皆さまとともに、歌を詠むたのしさとよろこびがわかちあえることを心から願っております。

今回も選者の今野寿美様、堺歌人クラブ会長の小西美根子様、与謝野晶子倶楽部常任委員の勾禰子様には、たいへんお世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

与謝野晶子倶楽部会長 太田 登

級友と作り合う楽しさ

「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」も第三回を迎えました。晶子短歌の魅力と、歌作りの楽しさを、ぜひ次世代の皆さんに味わっていただきたいと創設された大会です。

今年も全国の高校から一万二千首近い投稿をいただきましたこと大変うれしく心から感謝申し上げます。

これだけ多くの応募があるこの大会の特徴の一つは、原則学校単位の応募であることです。つまり、学校の授業や課外活動の一環として、教室の全員で歌を作り合ったり、宿題として提出していただいた作品だからです。たとえ短時間でも先生のご指導のもとに言葉を探し合ったり、お互い見せ合ったりしながら楽しく作る経験は、生徒たちにとってはとても貴重な時間だと思っております。ほとんどが初めての作品かもしれませんが、生徒たちの素直でたくまぬ作歌姿勢は、思わぬすばらしい作品を生むものです。いまだコロナ禍とはいえ、今回は前回までと違い、リアルな学校生活を詠んだものが多く、これも喜ばしいことでした。

ご協力くださった関係者の皆様に深く感謝しつつ、この短歌大会のさらなる発展を心から願っております。

堺歌人クラブ 会長 小西 美根子

第3回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会

次第

令和五年一月二十一日（土）於 さかい利晶の杜

表彰式 十三時三十分～十四時 一階茶室

選評会 十四時二十分～十五時 一階茶室

講演会 十五時十分～十六時十分 一階茶室

テーマ…いま読む『君死にたまふことなかれ』

講師…今野寿美



大正期の晶子（文化学院蔵）

第3回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会開催に際して

この度「第3回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」が無事開催の運びとなり、開催に際しご尽力賜りました関係者の皆様に、心から御礼申し上げます。また、今回は11,901首もの作品が日本全国から晶子のふるさと・堺の地に寄せられましたこと、大変嬉しく感じております。短歌を通して、青春の1ページを見事に表現された皆様の豊かな才能と感性に大きく期待するとともに、今後のご活躍を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

さかい利晶の杜 館長 隈元 英輔

与謝野晶子の表現世界とその生き方に触れる

さかい利晶の杜 与謝野晶子記念館

『みだれ髪』に始まる多くの詩歌集を出版し、また、『源氏物語』の現代語訳や社会問題、教育問題にかかわる評論活動まで行い、明治・大正・昭和という激動の時代にあって、常に新しい世界に挑戦し、表現し続けた晶子の姿を紹介する文学館です。



さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

〒590-0958 堺市堺区宿院町西2丁1-1 TEL 072-260-4386
<https://www.sakai-rishonomori.com>



目次

主催者挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第3回さかい与謝野晶子青春の短歌大会	
表彰式・選評会・講演会次第・・・・・	2
さかい利晶の杜（共催者）・・・・・・・・	2
目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
短歌賞ヒストリー・・・・・・・・・・	3
選者紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	3
選考経過・・・・・・・・・・・・・・・・	3
入賞作品・・・・・・・・・・・・・・・・	4
最優秀校・・・・・・・・・・・・・・・・	6
入選作品・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	10

短歌賞ヒストリー

全国を展望する恒久的な与謝野晶子顕彰事業として、第1回「与謝野晶子短歌文学賞」は堺歌人クラブ会長を実行委員長とし平成7年に堺市で開催されました。その後、平成15年の9回からは、産経新聞社主催で開催いただくことになりました。



泉陽高校にある「君死にたまふことなかれ」の詩碑

産経新聞社主催での与謝野晶子短歌文学賞が第24回をもって休止したことを受けて、与謝野晶子倶楽部と堺歌人クラブが堺市と連携し、令和の新時代に与謝野晶子の魅力を広く発信するため、青春の短歌に焦点をあて、新たに「第1回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」を開催し、本年度第3回大会となりました。開催にあたり、産経新聞社と与謝野晶子の出身校である大阪府立泉陽高等学校には継続し協力をいただきました。

選者紹介

こんの
今野 寿美氏



1952年東京都生まれ。歌誌「リとむ」編集人。宮中歌会始選者。昭和54年に「午後の草」で第25回角川短歌賞受賞。平成元年に『世紀末の桃』で第13回現代短歌女流賞、22年に『かへり水』により第37回日本歌人クラブ賞ほか。歌集に『若夏記』『龍笛』『さくらゆゑ』など。『24のキーワードで読む与謝野晶子』『みだれ髪訳注』『歌ことば100』『森鷗外ー短歌という詩型に生涯愛情を持ち続けた文豪』など、与謝野晶子、「明星」をめぐる著書がある。

【総評】

コロナ禍や不穏な世相のなかで、満喫できているとはいえない高校生活を送りつつ、そんな自分たちの内面をなんとか伝えようとする姿勢が感じられました。歌を通してはつきり自己主張するというところに自覚的なのだと思います。頼もしいです。

選考経過

令和4年度の「第3回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」では、高校生を対象に短歌の募集を行いました。募集は、6月1日から9月9日の期間で実施し、全国の高校63校、6,680名から11,901首のご応募がありました。北は秋田県から南は大分県まで全国の高校生からたくさんのお応募をいただきました。学校単位の団体応募は51校で、最多の投稿をいただいた高校は、1,190首でした。

選考については、1次選考を堺歌人クラブで行った上で、今野寿美氏に最終選考をお願いしました。上位9首並びに選者賞を入賞とし選評をいただくとともに、77首の入選歌を選んいただきました。また、複数の入賞や入選を果たした学校から最優秀校を決定いたしました。

大賞

君くれた手紙に書かれた文字心友
誤字じゃないって感じたあの日



関西大倉高等学校 登川 千鈴

二歳からの付き合いである大親友にもらった手紙について詠みました。
彼女は私のことを全て自分事のように考え、何かあると必ずかけつけ、いつも隣にいてくれます。彼女の存在とその手紙は私の心を強くしてくれるのです。そんな彼女とのかけがえのない思い出をこのような賞でご評価頂けたこと、大変嬉しく思っております。

選評

辞書にもあるとおり「心友」は存在する名詞だし、ついでにいえば「信友」も「真友」もありますが、誰もが最初に知る「親友」が一般的。作品は、誤字じゃないと確信したことにこもる信頼と喜びがテーマであるといえます。感じ入りながらの思い返しに、澁刺とした青春のページがくつきりと描かれ、きわだっていました。

与謝野晶子倶楽部賞

桃の身を傷つけるよう剥く友の
心はきつと荒野のようだ

東海高等学校 松井 宏志郎

選評

デリケートな桃を剥く友の手もとに、いくぶん傷ましい内面を見てしまった戸惑いと同情を述べた一首と読みました。どれほど荒んでいることかという推しはかりには、時代や社会に向ける十代の心を危ぶむ思いもあるかもしれません。その意味で刺激的でした。いつとき思いにふけるところに若々しい誠実さもうかがえます。

堺歌人クラブ賞

授業中サボって屋上行っていた
そんな話は漫画の中だけ

初芝富田林高等学校 小阪 美結

選評

やや冷めて思い究めたかにみえるユニークな発言の一首です。上の句にいう振る舞いは、たしかに悪気のない精一杯の反抗。かつこいいけど実践するには多少の勇気がないと……。というわけで、置かれた環境、とるべき行動をよく心得たうえで、そんな絵空事よ、と言ったのけたしつかり者のこの先が大いに頼もしく思えました。

さかい利品の杜賞

騒ぐ血を河内音頭に乗せまして祖父母と踊る高一の夏

清風高等学校 阪口 慶樹

選評

高揚する気分がそのまま伝わる楽しい一首です。第三句の口調も効果的ですが、若者らしい情熱をいう初句、伝統を継承する意識がまつわる第二、第四句、少年期から青年期に向かう青春のただなかである意気の高さ濃厚な結句まで、なんとも緻密に行き届いた構成であることに感嘆しました。

堺市長賞

笑う君コロイド実験大失敗半透膜は僕と君の距離

愛媛県立松山南高等学校 野中 大治

選評

授業での化学実験の場面でしょう。けっこう高度な内容に思えますが、はたしてこのグルーブの挑戦は大失敗。実験に使った半透膜は通す通さぬ分子を分ける隔てであつてみれば、それはちょうど二人の間にあるような、として一方的な恋心を匂わせたのだと読みました。高校生らしい知的な要素が巧みに配置された一首です。

堺市教育長賞

真っ白なキャンバスに描く下書きを未来の僕ははみ出せるのか

関西大倉高等学校 脇 龍志

選評

この歌には心に描く自分の未来に対する期待と不安がほどよく折り合いをつけて語られています。自分なりの確かさで思う未来をいう表現としてキャンバスの下書きにたとえたところも出色さらに、そこにとどまらず切り開いてゆけるかどうかまで想定した積極性を大いに評価したいです。

大阪府知事賞

模試受けてそのあと食べた豚キムチE判定ほど辛くはない

静岡県立浜松湖南高等学校 森嶋 柚樹

選評

模試当日の不調もあるでしょうけれど、実力発揮といかなかった口惜しさを少し軽口調に転じたことでもおもしろさが加わりました。ここで豚キムチを登場させる手際はやはり十代の精神的柔軟さでしょう。その辛さと高校生に切実なE判定の打撃を秤にかけられる抜け目のなさ。たいしたものですね。

大阪府立泉陽高等学校賞

褒められて素直になれずはぐらかす褒められてるのに胸が苦しい

京都府立嵯峨野高等学校 高木 もも

選評

この歌には十代のデリケートな心根が感じられます。照れくささと言ひ換えればわかりやすいけれど、「胸が苦しい」とまでいうところに、きまじめで何事もおろそかにしない高校生の実直な個性が浮かびました。若さというより生来の氣立てで、きつとその先に開かれる人生を歩む作者でしょう。そつと見守りたい気がします。

産経新聞社賞

雲梯の上に二人の影見えたあああの人は恋をしている

愛媛大学附属高等学校 佐川 楓朋

選評

たぶん「あの二人」と直感したのでしょう。寄り添う二人のシルエットとなつたら当然かもしれませんが、これは古来そして未来永劫変わることのない人類の象徴的姿のひとつかもしれせん。「雲梯の上」という設定にも映像的な魅力がありますし、それこそ青春期ならではの闊達さ。ストレートな下の句とも見合っています。

選者賞

十年百年叶わぬ恋をあたためて逢いにゆきたし百合の姿で

秋田県立秋田高等学校 石井 沙英

選評

恋と逢いたい思いとは不可分で、それをいうのみに尽くしています。それも到底叶はずのなさそうな恋。にもかかわらずあたためつつける思いの強さを添え、さらに重ねた百合のイメージは、もしかしたら与謝野晶子ら「明星」の歌人が作品に採り入れた清純の象徴の意味であつたかなど、読み手の想像をかきたてるところが魅力の一首でした。

小説のように世界が変わっても私を「特別」にしてはくれない

静岡県立浜松湖南高等学校 池田 小春

選評

いつの世も誰にとつても「特別」であることはかけがえのない喜びです。それも自分に直接かわることであれば、なんとしてもそうありたいと願うでしょう。現実には到底無理。それをいうために置いた上の句の仮定がこの歌のおもしろさの強力な支えです。虚と実の高校生なりの認識をこんなふうを持ち込んで作品化できる頼もしさを思いました。

ラブレター 想いは便箋五枚分 常用漢字は約2000文字

京都府立嵯峨野高等学校 高田 時

選評

想いを存分に書くとしたら便箋五枚分にはなる。でも、量だけの数だのとして数字化できるものじゃない。常用漢字と呼ぶもののように、この世では何事も規定の数字や量を示すものだけだ。下の句には、普段使う漢字にも常用漢字で量があるんだし、という含みでしょう。この取り合わせがさばけていて、思慮深い味わいになっています。

最優秀校賞

関西大倉高等学校

(大阪府)



関西大倉高等学校

大賞

君くれた手紙に書かれた文字心友誤字じゃないって感じたあの日

登川 千鈴

堺市教育長賞

真っ白なキャンバスに描く下書きを未来の僕ははみ出せるのか

脇 龍志

入選

声だして叫んでみなよその気持ち君の思いは絶対届く
友チョコと嘘つき渡す本命に物足りない顔してくれないかな

吉村 健太

「有意義な夏休みにしましょう。」無意味なものこそ学生の特権

林 結子

嫌われろ心のどこかでそう願う君の味方は僕一人ではない

山崎 央誠

太陽と重ねるように投げ上げる振り切るラケット眩しさを打つ

津田 慶子

あと一分どうしてここで気付くのか間違えている答案用紙

杉浦 美玲

連日の最高気温更新に暑いと言ったら負けた気がする

畑 美咲

分からない遠い未来の出来事も身近な今の悲劇さえも

鞍田 勇樹

青春はいつでもずっと早送り長かったと感じた日さえ

山崎 真妃乃

ピーナツ喉に残ったイガイガがあの日そびれた言葉に似てる

田井 美利亜

なぜだろう何がそんなにいいのだろうなぜ君じゃなきゃいけないのだろう

丸岡 祥子

比例する期待と恐怖最後だからバットで描け放物線を

李 珠鈴

入選

追いかけて追いつけなくて嫉妬して信頼できる僕のライバル

関西大学第一高等学校 谷口 月渚

友人とたどった道は砂時計いつかは終わりが来るのだろうか

関西大学第一高等学校 野川 莉緒

グラウンドボツンと転がるサッカーボール蹴り飛ばしたい自分と一緒に

関西大学第一高等学校 町上 桜太

今日もまたなかなか逢えずすれ違い歪^{いびつ}に割れた割り箸のよう

関西大学第一高等学校 旦 馨吾

昼休み緊急会議開かれてかすかな期待帰れるのかな

箕面学園高等学校 永井 敦也

ひまわりの横で伸びる女の子この子はきつと素敵な子になる

静岡県立浜松湖南高等学校 小田 怜莉

赤本とノートを広げ席につくあとは押すだけやる気スイッチ

静岡県立浜松湖南高等学校 浮海 美乃里

人生は化学変化の積み重ね思わぬ反応時に刺激臭

早稲田大学本庄高等学院 西川 昂輝

これがしたい二十歳^{はたち}からですお帰りを称号だけの半分成人

早稲田大学本庄高等学院 三浦 陽人

入学式全校集会歌省略校歌も知らない最高学年

早稲田大学本庄高等学院 中村 琉果

化学室どこか感じるなつかしさ何のにおいだ? ああ病院か

愛媛県立松山南高等学校 東 武文

先生の手話を眺めている今朝のはつきり青に染まる春の空

埼玉県立特別支援学校 坂戸ろう学園 松田 星音



君からの電話しよの一言で空っぽの僕のコップはすぐ溢れ出す

神戸市立神港橋高等学校 宮崎 響大

すだれある窓からみえる青い空遠くなるほど青が濃くなる

京都府立南丹高等学校 足立 千里

寂しそうな虚空を見つめる君の顔いつもの笑顔にそつと紛れて

北九州工業高等専門学校 石田 祐真

実験と牧野先生好きだけど異常に眠い化学の授業

北九州工業高等専門学校 渡邉 嶺

嘘つきめ「行けたら行く」は拒絶の意君も私も日本人

山口県立防府高等学校 見戸 幸姫

夕焼けに山の頂上空を見たお前が居るなら負ける気しない

関西学院千里国際高等学校 武井 奏人

目が合った素早く下向きまた戻すそれでも当てるか中村先生

愛媛大学附属高等学校 寺岡 礼登

君は私を先輩と呼ぶけれど、私は君を後輩とは呼ばない

愛媛大学附属高等学校 荒川 七海

山越えて新生活の街並みは四分の不安と六分の好奇心

愛媛大学附属高等学校 長谷 武志

おどる心乗り換えの不安抱きしめてワンマン電車青田を進む

ノートルダム清心学園 清心女子高等学校 平井 美紗

照らされる彼の笑顔がよく映えた今日は一段と太陽が眩しい

大分県立別府鶴見丘高等学校 新堀 莉菜

テスト期間全然勉強してないが急に始める謎の余裕

大阪府立布施高等学校 高岡 美月

「おやすみ」と君打つ文字のこちよさ見えぬ気持ちは同じだろうか

秋田県立秋田高等学校 石井 環妃

暑いねと温度を下げるリモコンでそして世界の温度は上がる

初芝富田林高等学校 櫛間 まや

ユニホームあなたの姿誰よりも輝いてるよ打てホームラン

大阪府立信太高等学校 立石 いろは

上を向くきつかけをくれる雲が好き一瞬で変わる自然のアート

香里ヌヴェール学院高等学校 赤楚 未桜

夏祭りのまれる人ごみ抜け出して私の気持ち花火にたくす

山口県立柳井商工高等学校 西本 凧沙

意中への距離はおよそメートルいちばん近くていちばん遠い

大阪府立金岡高等学校 林 央輔

あの世とは居心地の良い場所らしい誰もこの世には帰らないから

大阪府立金岡高等学校 渡辺 達也

友達の自転車壊れ帰り道持ち上げ歩くそんな思い出

大阪府立大塚高等学校 田中 芽依

グランドの真上の空の太陽が心も体も熱くしている

大阪府立大塚高等学校 風本 侑星

声だして叫んでみなよその気持ち君の思いは絶対届く

関西大倉高等学校 吉村 健太

友チヨコと嘘つき渡す本命に物足りない顔してくれないかな

関西大倉高等学校 澤田 理紗子

「有意義な夏休みにしましょう。」無意味なものこそ学生の特権

関西大倉高等学校 林 結子

嫌われろ心のどこかでそう願う君の味方は僕一人ではない

関西大倉高等学校 山崎 央誠

太陽と重ねるように投げ上げる振り切るラケット眩しさを打つ

関西大倉高等学校 津田 慶子

あと一分どうしてここで気付くのか間違えている答案用紙

関西大倉高等学校 杉浦 美玲

連日の最高気温更新に暑いと言ったら負けた気がする

関西大倉高等学校 畑 美咲

分からない遠い未来の出来事も身近な今の悲劇さえも

関西大倉高等学校 鞍田 勇樹

青春はいつでもずっと早送り長かったと感じた日さえ

関西大倉高等学校 山崎 真妃乃

ピーナツツ喉に残ったイガイガがあの日そびれた言葉に似てる

関西大倉高等学校 田井 美利亜

なぜだろう何がそんなにいいのだろうなぜ君じゃなきゃいけないのだろう

関西大倉高等学校 丸岡 祥子

比例する期待と恐怖最後だからバットで描け放物線を

関西大倉高等学校 李 珠鈴

黄昏に染まる夕顔君の顔伸びた影だけ僕に重なる

福岡県立明善高等学校 松田 啓子

笛が鳴るその瞬間に顔を上げた雨降る心

大阪府立いちみつ高等学校 舟根 悠真

どうしてだ好意を寄せている人の嫌いは信じ好きを疑う

大阪府立いちみつ高等学校 澤邊 愛咲

大嫌いみんなに優しい君をみて嫉妬しているわたくしが嫌い

大阪府立いちみつ高等学校 三谷 楓果

部活後にかぎを返しに行く人を決めるじゃんけん一番楽しい

大阪府立いちみつ高等学校 森 健介

せきぞう
石像とにらめっこした夏休み鉛筆の音と鉛色の手

大阪府立狭山高等学校 市川 稀夏莉

この夏は勝利を目ざし追いかけたひとつの気持ちを横一列で

大阪府立狭山高等学校 赤岩 優

あの曲を聞けばあの頃思い出す今の私はどの曲だろう

大阪府立狭山高等学校 大上 華蓮

さらさらとものを書く手が止まらない夏の日差しと窓辺と私と

大阪府立狭山高等学校 廣滝 さくら

せみのように殻を破ると誓ったが今の私はうつせみのよう

京都府立嵯峨野高等学校 根本 幸拓

満員の観客席にフルートの音が吸い込まれてゆく怖さ

京都府立嵯峨野高等学校 笹原 すみれ

衣がえセーラーの衿風にゆれ夏のおいがすぐそこにある

明浄学院高等学校 坂井 にこり

新しい季節とともに時がすぎくらはすこし変わるのだろう

堺市立堺高等学校 山下 大翔

山と海どっちが好きか問いかければ家が好きだと言う君が好き

大阪府立三国丘高等学校 李 承軒

ディスタンス体と体は離れても心と心はいつだって密

大阪府立三国丘高等学校 赤石 蓮人

言わないで聞いてしまうともう元に戻れない気がしてしまうんだ

大阪府立三国丘高等学校 長尾 一輝

ひまわりがお日さまずっと見つめてる私の視線に気づくことなく

大阪府立三国丘高等学校 中辻 優里菜

自由律短歌詠むほど腕がない自由はときに重き鎖よ

大阪府立三国丘高等学校 黒川 航世

喧嘩した次の日の朝のおはようはいつもより少し優しくて好き

大阪府立鳳高等学校 西本 美香

カレンダー真っ白なのは「ごめんね」とたったひとこと言いそびれたから

大阪府立鳳高等学校 奥野 咲夏

友達と呼べる基準って何だろう話してるのは初対面の人

大阪府立鳳高等学校 喜多村 彩

しやりしやりと皆で食べるかき氷キンとしながらジンとするね

大阪府立千里高等学校 久世 響己

皆寝てる黒板の音が心地良くプールの後の五限目国語

大阪府立千里高等学校 城口 凜久

帰り道偶然出会った君の眼に映る僕から視線を逸らす

大阪府立富田林高等学校 玉川 太一

仕送り(しおく)はわくわくと希望(きぼう)のダンボール(はこ)ただの箱(はこ)でも寮(りよう)では違(ちが)う

柳井学園高等学校 松下 優河

消しゴムを落として始まる恋の予感男子校にそんなものない

明星高等学校 森 水玖

3年ぶりの水泳授業水着よりマスクを外す方が恥ずかしい

明星高等学校 菅 響紀

アザはないお腹すかない怒鳴られないやつぱり僕は幸せなんだ

阪南大学高等学校 川端 綾乃

バス降りて急に降り出す大雨が試合に負けた心を濡らす

松商学園高等学校 務台 紗

人は誰も二人の自分をかかえてる社会の自分とネットの自分

松商学園高等学校 藤岡 弓姫

「恋なんて勉強の邪魔」生真面目な私は君に会わなきゃよかった

宮城県宮城第一高等学校 土井 雅美

私から三十八万キロ彼方窓ごしに見る月は隣人

山口県立華陵高等学校 藤井 琴子

与謝野晶子のプロフィール

与謝野晶子 [明治 11(1878)年 12 月 7 日 - 昭和 17(1942)年 5 月 29 日]

堺市甲斐町の菓子商駿河屋二代目鳳宗七とつねの三女として生まれました。本名は鳳(ほう)晶(しょう)。幼少期から帳場の手伝いのかたわら源氏物語に親しみ、大阪府立泉陽高等学校の前身にあたる堺女学校を卒業後は、詩歌の世界にめざめました。新しい詩歌の旗手であった与謝野鉄幹(寛)と出会い、「明星」を代表する歌人として活躍し、第一歌集『みだれ髪』は石川啄木ら当時の文学青年たちに多大の影響を与えました。その後も「君死にたまふことなかれ」や多くの秀歌を発表し、「日本女詩人の第一人」として時代の頂点を極める存在になりました。

晶子は『春泥集』『夏より秋へ』などの詩歌集だけにとどまらず、小説集、童話集、評論集、歌論書のほかに『新新訳源氏物語』『新訳紫式部日記・新訳和泉式部日記』などの古典の現代語訳を刊行し、さらにヨーロッパから帰国後は、女性の自立と地位の向上をめざした評論活動、教育活動にも大きな功績を残しました。明治、大正、昭和という激動の時代にあって、すぐれた「先見性」と「国際性」をもって「表現者」として真摯に生きた晶子のメッセージには、21 世紀を生きる私たちにも勇気と感動を与えるものがあります。

主 催・・・与謝野晶子倶楽部、堺歌人クラブ

共 催・・・さかい利晶の杜

後 援・・・大阪府、堺市、大阪府教育委員会、堺市教育委員会

特別協力・・・大阪府立泉陽高等学校、産経新聞社